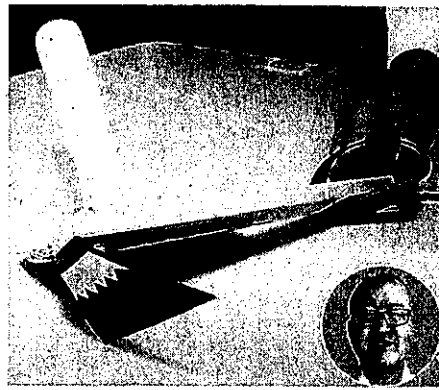


# ワイド



永井のくわが開発した「ばっば鎌」。円内は永井社長

## お年寄りでも手軽、便利 「ばっば鎌」新発売

滝根の業者「永井のくわ」田村市滝根町のくわ製造・販売「永井のくわ」は、お年寄りも扱いやすい草削り鎌を開発し、「ばっば鎌」の商品名で発売した。一般的な鎌より腕力を必要とせず、庭や田畑の除草に活躍しそうだ。ばっば鎌はグリップ

状の取っ手を柄(え)と垂直に取り付けた。柄と腕をゴムバンドで固定することで、少ない力で刃を動かせる。作業時の姿勢に応じて取っ手の位置を前後に調節することも可能。刃の両端を鋭角にとがらせ、根の深い草を掘り起こす工夫も凝らしている。

永井弘純社長(右)は「手首にかかる負担が少ないので年配の女性への贈り物にお勧めしたい」と話している。刃は二種類。鉄製が税別二千二百円、ステンレス鋼製が同二千三百円。県内の各JAや農業資材店、金物店などで購入できる。

同社は使い方を紹介する動画をホームページ(<http://nagainokawa.co.jp/>)に掲載。問い合わせは同社 電話0247(78)20022へ。



## セシウム水田流入防ぐ

葛尾などでNPO実験 もみ殻で吸着

認定NPO法人自然環境復元協会(本部・東京都)は葛尾村などで、もみ殻を活用して水田への放射性物質の流入を防ぐ実験に取り組んでいる。同法人は放射性セシウムを吸着するもみ殻の効果に着目。大雨による増水時、濁り水の流入を防ぐ器具として木箱型のもみ殻袋(高さ三十センチ、幅六十センチ)を考案した。器具は格子状に仕切った木枠に



状況を確認する速水ら(手前)の設置を確認する速水理事

網をかぶせ、もみ殻を小分けして詰めて、水田の取水口近くに取付ける。

同法人の速水洋志理事長は九日、葛尾村を訪れ、野川地区でコメを試験栽培している松本敏美さんの水田で器具の設置状況などを確認した。同法人によると、もみ殻を使ったセシウム対策は安価で手軽な点などが長所という。問い合わせは同法人 電話03(5272)0254へ。

## 17日、原町開催

十七日に南相馬市原町区のロイヤルホテル丸屋で開かれる全国スポーツクラブ会議で、フィギュアスケート元世界女王の安藤美姫さんが基調講演する。主催者は十五日、一般向け百人の無料入場整理券を配布する。



10月に若松で大 第六十二回全国地域婦人 研究会は、十月十九、二十

復興と食・農教育者 福島大大学院 公開講座



福島大大学院経済学 研究科の一般公開講座「地域産業復興プログラム」は八日から開講した。

初回は環境放射生態学を専門とする塚田祥文教授が「放射性セシウム、ストロンチウム、交換態」などをテーマに本県の農作物中の放射線セシウムの検査体制などを分かりやすく解説した。

日まで毎週 後六時から まで開かれ 回。参加無 も受講でき 問い合わせ 話024(330)へ。